

平成23年度当初予算編成方針

総務部財政課：075-414-4414
政策企画部行政経営改革課：075-414-5745
政策企画部企画政策課：075-414-4347

第1 はじめに

- 少子高齢化・人口減少の進行や地域コミュニティ崩壊の危機、経済のグローバル化の進展など社会構造が変化する中、こうした時代や情勢の変化に的確に対応しながら、誰もが幸せを実感できる、希望の京都づくりを進めるためには、新しい時代にふさわしい施策体系の再構築と施策の重点化が必要である。
- このため、本府では、これからの新しい京都づくりの指針を「明日の京都」として策定を進めているが、平成23年度当初予算編成は、この「明日の京都」による新たな施策体系の初年度として、新「長期ビジョン（案）」に示す次の3つの基本的方向性を大きな柱として、特に中長期的に対策が必要な重点施策に取り組む。
 - ＜3つの基本的方向性＞
 - ①「府民安心の再構築」
 - －だれもが安心して暮らせる京都づくり
 - ②「地域共生の実現」
 - －地域社会が信頼の絆で結ばれ、つながり支え合う京都づくり
 - ③「京都力の発揮」
 - －新しい「質」と「こころ」の時代の要請に応える京都づくり
- 一方で、我が国の景気は、一部持ち直しの動きも見られるものの、依然として厳しい状況が続くと予想されており、中小企業を取り巻く経営環境や雇用情勢の悪化が懸念されることから、引き続き、緊急の課題として、雇用の確保や経営の安定につながる施策に取り組む。
- また、これら施策の推進を可能にするためには、その財源の確保と府民ニーズに迅速に対応できる簡素で効果的な行財政構造の改革が不可欠であり、平成21年3月に策定した「府民満足最大化プラン」に基づく取組をさらに踏み込んで進める。

第2 施策の推進方向

1 府民安心の再構築

- 高齢化の進行や非正規雇用の拡大等により、既存の対策では府民生活の安心の確保が難しくなる中、セーフティネットを再構築し、だれもが安心して暮らせる京都づくりに取り組む。

(1) 高齢化の時代に、すべての人が地域で安心して暮らせる京都に

- ◆ 医療・介護・福祉を一体化した「京都市域包括ケアシステム」を実現するため、医療・介護・福祉を支える各サービス基盤の充実や各分野の連携強化、人材育成を支援する仕組みづくりを展開
- ◆ 医療保険負担の地域間格差の解消や、医療政策と一体となった効果的・安定的な保険運営の実現に向けた先行的取組を実施
- ◆ 地域医療の安心を確保するため、地域における医師確保対策をはじめとする医療提供体制の再編強化を展開
- ◆ がん患者の増加に対応するため、緩和ケアなど総合的ながん対策を展開
- ◆ 急性期から回復期、維持期に至るまで、切れ目のない総合的なリハビリテーションを全域で提供できるよう、リハビリテーション従事者の確保・育成など体制を整備

(2) 福祉と雇用の連携等により、働きたい人が安心して働ける京都に

- ◆ 生活保護受給者の生活再建を目指して、生活保護や就職支援を一体のものとして講じる京都方式の「トランポリン型福祉」を確立
- ◆ 障害者雇用率2%を達成するため、「チーム2%」事業の展開などにより、障害者の多様な就労の場を創出

2 地域共生の実現

- 人々のつながりが希薄化する中で、地域社会が信頼の絆で結ばれ、つながり支え合う京都づくりに取り組む。

(1) 地域の課題を、みんなが協働・連携して解決できる京都に

- ◆ 新しい地域力再生活動の盛り上がりを支援し、活動全体のボトムアップを図る総合的な支援システムを構築

- ◆ 過疎・高齢化した集落「命の里」の再生に向け、生活環境や農林業の基盤整備、地域雇用や所得機会の創出、地域リーダーの育成など、ソフト・ハード両面の施策を重点的に展開
- ◆ 道路や河川、耕作放棄地や荒廃竹林、古民家など地域の公共空間を、多様な主体の協働・連携により保全・再生・活用
- ◆ 野生鳥獣被害を激減させるため、個体調整等の緊急対策を講じるとともに、捕獲の担い手の確保や里山整備による生息地環境対策等を実施
- ◆ 多様な世帯が居住・交流可能な住宅を核としたユニバーサルなまちづくりを推進
など

(2) 地域の協働で、犯罪や災害のない京都に

- ◆ 犯罪件数をピーク時から半減させるため、犯罪のない地域づくりの協働拠点「府民協働防犯ステーション」を府全域に展開し、交番・駐在所機能を変革・強化
- ◆ 少年非行の徹底的な縮減を目指して、関係機関が密に連携し、スクールサポーターや補導体制の強化を図るとともに、就職・復学などの立ち直り支援を実施
- ◆ 災害に強い地域づくりを実現するため、地域消防力の強化や、洪水・土砂災害未然防止対策、耐震化を含めた総合的な地震防災対策を戦略的に展開
など

(3) 子育てにやさしい京都、頑張る女性を応援する京都に

- ◆ 子どもを安心して生み育てられる環境をつくるため、全国トップクラスの不妊治療助成制度やサポート体制を確立
- ◆ 多様な働き方の導入を推進するとともに、仕事・家庭生活・地域活動などが調和した府民生活を実現するため、公労使のオール京都体制で、ワーク・ライフ・バランスの推進拠点を設置
- ◆ 社会的ひきこもりからの青少年の自立を円滑に進めるため、訪問支援や職親事業による就労体験に加え、ひきこもり青少年を対象とした新たな就労支援施策を実施
など

3 京都力の発揮

- 京都の持つ高いポテンシャルを存分に活かし、新しい「質」と「こころ」の時代の要請に応える産業・文化・環境等の「みやこ」づくり、人づくりに取り組む。

(1) 京都の強みを活かして、中小企業や様々な産業が元気な京都に

- ◆ 新しい価値の発見や高度化により、伝統産業も含めたあらゆる分野での成長産業の創出を実現するため、オール京都による産業支援プラットフォームを創設し、オンリーワン企業の育成、知恵の経営や東アジア市場の開拓を目指す中小企業を支援するなど、内需・外需のバランスのとれた支援策を展開
- ◆ 京都の中小企業の底力の発揮に向け、中小企業の高度化や人材育成、技術開発に対し、大規模投資を実施
- ◆ 明日の京都の農業を切り拓くため、農商工連携による高付加価値商品や新サービスの開発、農産物輸出ビジネスの展開等を通じて、年商1億円以上の経営体を倍増
- ◆ 伝統産業や農林水産業等あらゆる分野において京都ブランドを確立するため、ブランド発信拠点の整備や市場優位性の確保策などを展開
- ◆ わが国の経済成長を牽引し、世界に先駆けて「低炭素社会」と「健康長寿社会」を実現するため、環境・新エネルギー、医療・バイオ分野への集中投資により、関西文化学術研究都市を国際的イノベーション創出の拠点へと展開
- ◆ 京都から「観光立国・日本」を実現するため、大規模国際会議の誘致によるMICEシティの形成や、ユニバーサルサービスの提供による観光客へのホスピタリティ向上の取組を実施
- ◆ 人的・物的交流と産業の拠点となる国土軸、国際ランドブリッジを形成するため、舞鶴港のゲートウェイ機能を最大限発揮
- ◆ 交流基盤重点投資戦略を強力に推進するため、道路網のミッシングリンクの早期解消やJR奈良線の複線化など公共交通網等を重点的に整備など

(2) 文化・環境をはじめとする「みやこ」に

- ◆ 「京都文化年」事業の積極的展開と「国民文化祭」の400万人参加（過去最多）の実現を目指して、ほんまもんの京都文化に触れる事業を府全域で展開
- ◆ 温室効果ガス25%オフ社会を実現するため、「京都府地球温暖化対策条例」に基づき、京都版CO2排出量取引制度を創設
- ◆ 文化のみやこを創造するため、世界レベルの文化・環境・学術の交流・発信拠点となる「北山文化環境ゾーン」や生涯学習拠点の整備をはじめ、「京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会」の意見を踏まえながら、スポーツの重点拠点の整備検討
- ◆ 京都府の北から南までの各地域で資源と個性を活かした「みやこ」づくりを進めるための「『みやこ』づくり地域戦略」を府全域で展開など

(3) 次代を担う人材が育ち、活躍できる京都に

- ◆ 学力や生徒指導上の課題に現場対応するため、「京都式少人数教育」を中学校へ展開
- ◆ 「京の文化教育」、「京の食育」を徹底するため、伝統文化の理解を深めるカリキュラムを展開するとともに、地元農林水産物の学校・保育園給食への供給を拡大
- ◆ 産業づくり・人づくりによる常用雇用4万人の実現のため、オール京都体制による総合的な就労支援を展開
- ◆ ものづくり産業、伝統産業、公共人材、農と林、介護・福祉の5分野を中心に、京都の未来を担う1万人の人づくりを実現するため、産学公連携による新たなチャレンジ支援を展開
- ◆ 農と林の新しい担い手の積極的な育成に向け、人材育成のための拠点の設置などを実施 など

緊急の課題への対応

- 直面する厳しい雇用・経済情勢等を踏まえ、雇用の確保や経営の安定につながる施策等について、引き続き緊急の課題として取り組む。
 - ◆ 「京都府緊急雇用対策基金」を活用した雇用や生活の下支えとしての6千人の雇用機会の創出と、「地域の未来を支える人づくり事業」による1万人の雇用の実現
 - ◆ 深刻化する野生鳥獣被害から府民生活を守り、緊急雇用を確保するため、広域捕獲体制の充実強化による適正な個体数調整を実施
 - ◆ 円高、デフレに対応するための中小企業サポート体制や制度融資による中小企業経営安定化の展開
 - ◆ 頻発する異常気象の被害を防止するため、農産物の安定生産・安定供給体制や酷暑等天候不順への対応策を強化 など

第3 府民満足最大化への取組の推進

- 財政健全化指針及び経営改革プランの取組により、着実に行財政構造の改革を推進し、財政健全化の判断基準である実質公債費比率についても全国トップクラスを維持している。
- しかしながら、この間の雇用・経済情勢に対し、府民生活を守り京都を温めるための施策を積極的に追加する一方、厳しい経済情勢により府税収入が大幅な減収となる中、府債の発行等により、何とか収支不足を埋めている現状にあり、今後の府税収入や公債費、福祉関係経費の見通しを踏まえれば、引き続き、行財政構造の改革を推進することが必要である。
- 先に掲げた重点施策を実施するためには、「府民満足最大化プラン」に基づき、限られた人材、財源、資産等を府民満足の最大化に集中投資できるよう、府民ニーズ第一の視点から、「明日の京都」中期計画の基本目標を踏まえた事業仕分け・評価の実施や府民協働等を積極的に推進し、事業の再構築や業務プロセスの見直しなどの徹底した行財政改革をさらに踏み込んで進める。

1 府民ニーズ第一の視点

- 「事業仕分け・評価調書」を最大限活用し、以下の視点から施策の徹底した点検・検証を行うことで、府民満足に寄与できていない事業の見直しにより、事業を最適の状態に再構築する。
 - また、本年度「事業の棚卸し」として議論を進めた事業については、積極的に見直しを進め、その成果を予算に反映させることとする。
- ◆ 受益者が少人数にとどまる事業は、廃止を基本に検討すること。要求する場合にあっては、「効果」を具体的に明らかにすること
- ◆ 一人当たりコストが多額な事業は、事業費の削減、事業手法を見直すこと
- ◆ 事業主体や事業手法について、府や市町村・民間・NPO等多様な主体がある中で、補完性の原則に基づき、二重行政の解消などを図りながら、府民にとって最適な事業主体・手法に再構築すること
- ◆ 到達目標と現状に大きな乖離がある場合は、本事業の継続実施の必要性を十分検証すること
- ◆ ニーズが不明確な事業は廃止、もしくはニーズに合致したものとなるよう、事業の組替えを積極的に検討すること
- ◆ 事業費に投下される人件費が多額な事業は、業務フローや事業手法を見直すこと

- ◆ 個人給付事業の所得制限については、社会経済情勢に応じて見直すこと
- ◆ 特別会計等にあっては、経営計画を踏まえて見直すこと
- 既存の制度にとらわれることなく、「府民が主役」となる新たな行政戦略として、「京都ジョブパーク」等の取組を参考に、施策の実施に当たっては、サプライヤー志向からユーザー志向に転換し、部局横断、連携の視点をもったワンストップサービス型に事業を再構築していく。
- 出資法人等の外郭団体について、府民サービスの提供主体としての在り方や職員派遣等人的関与の在り方の検証を行い、団体関連予算の見直しを進めるとともに、施設等の管理水準について精査を行う。

2 地域協働重視・業務プロセス簡素化の視点

- 地方分権時代にあって、地域力を最大限引き出すため、府民協働施策を積極的に推進するとともに、住民に身近な市町村との事業の協働化や市町村の戦略的プロジェクトの包括的な支援を実施する。
 その中で、府は広域行政において主体的な役割を發揮していくこととし、関西広域連合の枠組みも活用して、広域的・戦略的な施策を推進する。
- 地域に密着した現場の対応力を強化するため、地域戦略費等に係る広域振興局長の裁量を拡大する。
- ICTの活用や、公共事業の実施における府民参画など、業務プロセスの再構築を進めるとともに、府民満足に直結しない事務の合理化等を徹底する。

3 持続的・安定的供給の視点

- 事業仕分け・評価等による徹底した事業の再構築や事務・業務等の見直し、ICTの更なる活用や権限委譲による現場対応力の強化など業務プロセスの簡素化を徹底し、職員定数の更なる削減・適正化を行うとともに、職務・職責と勤務実績を反映する給与構造改革の推進や府民視点からの諸手当の見直し等の給与費プログラムの取組を継続するなど、人件費の抑制を進める。
- 道路、公園、下水道などの公共施設について、アセットマネジメントを導入し、計画的な予防補修により、維持管理・更新費を平準化し、全体コ

ストを縮減するとともに、公債費プログラムに基づく投資的経費の総額管理と整備箇所の重点化により府債発行を抑制する。

- 公平・公正な税務行政を目指して、京都地方税機構と連携し、効果的な府税の徴収に努めるとともに、深刻な環境問題など、社会全体で取り組むことが必要な課題に的確に対応していくため、森林・環境税など法定外目的税の導入について、経済情勢も踏まえつつ検討する。
- 府有資産の利活用、広告収入、使用料・手数料の見直し等による財源確保を図る。
- 基金の使途目的について府民ニーズに沿った見直しを進め、その活用拡大を図る。